

## アクセシビリティの検討状況

### 1 アクセシビリティの確保に向けた主な取組

東京 2020 大会の開催に当たっては、準備の初期段階からアクセシブルな環境整備を考慮し、準備に反映することを目指している。（「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」より）

例えば、鉄道駅のエレベーターやホームドアの整備、道路のバリアフリー化などのハード整備が現在も進められているが、今後は大会本番へ向け、ハードの整備状況を見据え、仮設整備やソフト対策などの準備を重点的に進める必要がある。

大会期間中に輸送する対象には、大会関係者と観客があるが、仮設整備やソフト対策に関する主な取組として、以下のものを実施することとしている。

#### 【大会関係者向け】

- ✓アクセシブルな車両の調達・運用
- ✓バス車両への乗降用スロープの設置
- ✓案内、誘導サインの設置（多言語対応を含む）
- ✓アクセシビリティに係る情報の発信
- ✓大会スタッフ（ボランティアを含む）の教育、訓練

#### 【観客向け】

- ✓アクセシブルルートの追加設定（2018年4月以降順次、追加設定・公表）
- ✓案内、誘導サインの設置（多言語対応を含む）
- ✓大会スタッフ（ボランティアを含む）の教育、訓練
- ✓アクセシビリティに係る情報の発信
- ✓アクセシブルシャトル（仮称）の運用（都内会場及び地方会場の一部）
- ✓会場内又は会場周辺における車いす使用者等専用の駐車場の設置（地方会場の一部）

### 2 大会関係者向け取組の検討状況

アクセシブル車両の調達に向け、2019年12月現在、約230台のリフト付き観光バスを確保している（資料3-3で詳細を説明）。

また、パラリンピック競技大会の際に用いるアクセシブル車両について、現在、車種等の検討を行っている。

リフト付きバスにより車いす選手の乗降に使用するスロープについても、設置する競技に関してIPCやIF（国際競技連盟）との調整を進めている。

さらに、案内、誘導サインの設置やアクセシビリティに係る情報の発信、大会ス

スタッフの教育、訓練に向け、準備を加速している。

### 3 観客向け取組の検討状況

アクセシブルルートについては、2018年4月以降順次ルートを設定するとともに、現在も各管理者により状況に応じてハード整備が進められているところである。

また、案内、誘導サインの設置やアクセシビリティに係る情報の発信、大会スタッフの教育・訓練に向け、準備を加速している。

さらに、観客のうち、車いす利用者等を対象に、アクセシブルシャトル（仮称）として、タクシーまたはバスタイプの車両を用いた輸送サービスの提供を検討している。

#### 【アクセシブルシャトル（仮称）による輸送サービスの提供内容】

##### 1) 駅～会場

駅や道路の恒常的な環境整備が難しく、車いすでのアクセスが困難な会場や駅から距離の長い会場については、駅から会場間のアクセシブルシャトル（仮称）の運行を計画している。

また、駅から会場まで観客シャトルバスが運行される会場においては、観客シャトルバスへの同乗やアクセシブルシャトル（仮称）を用いたサービスによる運行のいずれかの方法により、サービス水準を確保する。

##### 2) 運行拠点～会場

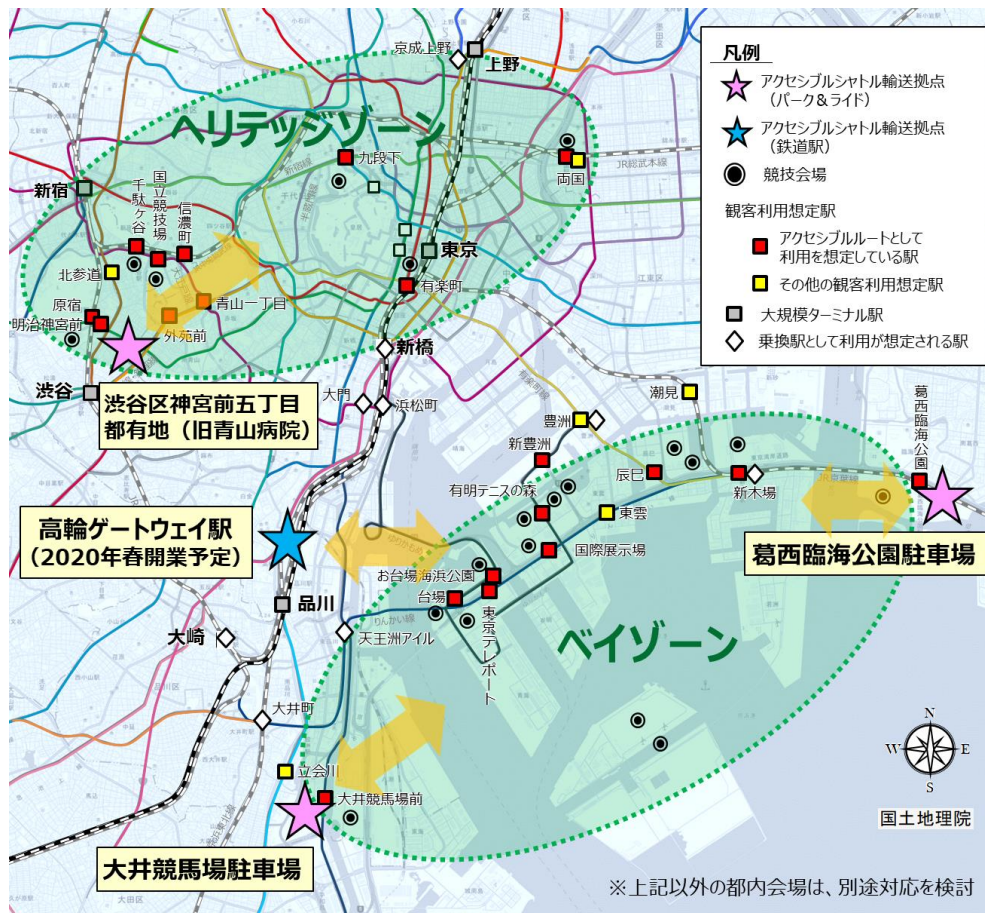
都内会場の一部においては、運行拠点からアクセシブルシャトル（仮称）の運行を検討している。

###### <対象会場>

- ・アクセシブルルートにおいてエレベーターが一定以上混雑することが見込まれる会場（主にベイゾーンの会場が該当する見込み）
- ・観客シャトルバスの輸送力に上限があり、全ての車いす利用者等を輸送することが困難な会場（ヘリテッジゾーンの会場の一部が該当する見込み）

###### <運行拠点>

- ・自家用車等を用いてアクセスするパーク&ライドの拠点  
「大井競馬場駐車場」、「葛西臨海公園駐車場」、「渋谷区神宮前五丁目都有地（旧青山病院）」に設置する予定
- ・鉄道等の公共交通機関を用いてアクセスする拠点  
「高輪ゲートウェイ駅（2020年春開業予定）」前などに設置する予定



<都内会場の一部を対象としたアクセシブルシャトル（仮称）の運行エリア>

### 3) サービス提供に用いる車両例



UD タクシー



低床バス



リフト付きバス

#### 4) 今後の予定

アクセシブルシャトル（仮称）の運用、乗降場の運営及び周知に向けた今後の予定は、下表のとおり

	2019年		2020年	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
運用計画	検討・調整		深度化、検証	東京2020大会
乗降場運営	運営体制の構築に向けた調整、検証			
周知	検討・調整		周知	